

プログラム番号が入りますので、空欄にしてください（インデントタブ設定を変更しないでください。）

大気中親電子物質 1,2-ナフトキノンに対する細胞内活性イオウ分子の防衛的役割

タイトルはゴシック体（14 ポイント）で作成してください。英文字は、Helvetica または Arial でお願いします。行間は、16 ポイントです。変更しないでください。

○薬学 花子¹, 医薬 太郎¹, John M.
(¹東北大院・薬, ²東北医薬大・薬)

【目的】大気中親電子物質である 1,2-ナフトキノン (1,2-NQ) は細胞内において反応性システイン残基を有するセンサータンパク質と容易に共有結合を形成し、

【方法】ヒト気管上皮由来BEAS-2B細胞を用い、

【結果および考察】BEAS-2B細胞を1,2-NQに曝露した結果、

タイトル以外の所属・氏名及び本文は、明朝体（12 ポイント）で作成してください。英文字は、Times ないし Times New Roman を使用してください。行間は、14 ポイントになっていますので、変更しないでください。

Role of reactive sulfur species in protection against 1,2-naphthoquinone-induced cytotoxicity in human bronchial epithelial BEAS-2B cells

○Hanako Yakugaku¹, Taro Iyaku¹, John May² (¹ Grad. Sch. Pharm. Sci., Tohoku Univ., ² Fac. Pharm. Sci., Tohoku Med. Pharm. Univ.)

1,2-naphthoquinone is an atmospheric electrophile-----
